

神戸製菓会社 20 歳青年パワハラ自死事件

前田和美・西垣迪世 兵庫過労死を考える家族の会

1 息子について・前田和美

生まれた頃の話

阪神淡路大震災の折に授かり、その後母子家庭となりながらも息子、娘と 3 人で乗り越えてきたこと

↓

ゴンチャロフ入社

↓

パワハラ開始 内容

↓

鬱発症

↓

周囲からの軽んじられる様子

↓

投身自殺

↓

パワハラを苦にした自死であること、それ以外に何も問題はなかったこと。

その後の会社の対応や反応

↓

パワハラをなくすため今後社会や会社がどのように人を育成するのかを課題にし、また罰則規定などを作って欲しいという希望

2 ゴンチャロフ事件の真相について・弁護士作成資料の説明（西垣）

パワハラの実態（パワポ資料より）

期間 入社当初から亡くなるまで間ずっと
(但し 2015 年 10 月ごろから激しさを増す)

頻度 ほぼ毎日

きっかけ ロスを出す、生産ピッチがあがらない、

時間 作業中に短ければ 5 分、長ければ 2 時間

場所 作業場又は詰所

態様 フロアー中に響き渡る声で罵声を浴びせる

入社間もないころから挨拶しても GL から無視 前田君は先輩社員の M・K さんに「また無視された」と相談

1 年目のころから作業中に突如詰所まで呼び出されて、1 時間～2 時間説教を受ける
周りにパートや派遣社員が居る前で怒鳴なられて辞めると言ったら、お前の高校からはもう採用しないと脅す

一つのミスがあると何度も何度も繰り返し怒鳴り続ける

「お前、ちゃんと測れっていったやろ！」「おんなじこと何回言わせるねん」「お前はボンボンやからなー、わからんやろな」「お前は社長出勤やからな」「ちゃんと見とかんかえ」「また牛の餌増やしやがって」

実労働時間

27 年 9 月 22 日～10 月 21 日

残業 87.4 時間

27 年 10 月 22 日～11 月 20 日

残業 109.19 時間

27 年 11 月 21 日～12 月 20 日

残業 91.18 時間

休憩時間

定時 12 時～12 時 45 分

ところが・・・

前田さんはいつも短い休憩時間しかとらずに職場に戻ってきていました。前田さんはお昼休憩は長くても 20 分くらいしかとっていないかった

派遣社員 E

正社員はお昼はほとんどとれず、カップラーメンやおにぎりをかき込んで食べ終わったらすぐ現場に戻るという感じでした

派遣社員 F